

(公社) 日本植物学会 平成25年度事業報告

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

I. 事業の状況

計画の概要

本学会は、植物科学に関する研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の発展に寄与することを目的としている。平成25年度は、下記の2公益事業を中心に展開し、高い公益性を実現するための施策と事業を展開した。

(公益事業1) 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開

学術雑誌の刊行については、Journal of Plant Research (JPR) 126巻1号～6号(6冊)の発行と電子出版を行った。植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、学会情報誌や日本植物学会ホームページを通じて情報の提供を行った。さらに一般向け情報をホームページ上で公開した。JPRの国内外の研究機関等への寄贈と交換を行った。植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

(公益事業2) 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進

定例学術集会として、日本植物学会大会を北海道大学にて開催した。また社会への啓発活動等として、大会において一般向け公開講演会および高校生ポスター発表会を開催した。学術業績の表彰その他研究の奨励として、日本植物学会賞の選考と授与を行った。さらに、大会時に高校生ポスター賞を授与した。また各種団体による賞・研究助成金公募への推薦を行った。国内外の関係学術団体、学術連合との連絡及び交流などを協力事業として行った。また、講演会、講習会等の共催、後援および協賛を行った。その他、地方の関連学会を通じた地方の研究動向調査、植物科学教育研究情報の収集と公開を行った。東日本大震災の復興支援事業として、植物を利用した復興支援研究・活動の支援等を行った。

処務として、代議員会、理事会等の開催、公益法人化に伴う諸規則の整備およびH27期会長候補者の選挙を実施した。

1. 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開 (公益事業1)

ア. 学術雑誌及びその他の出版物の刊行 (電子情報も含む)

JPR編集委員会

(1) Journal of Plant Research (JPR): Vol. 126 No. 1～No. 6 (A4変形版、論文頁数872頁、紙版: 年6回隔月(奇数月)発行、発行部数2,250部、オンライン版: 随時維持・整備)の編集と発行を行った。質の高い論文誌発行のための施策を検討し、実施した。IFやその他の指標

(ゼロ被引用論文数, 分野別・国別被引用数)の解析による、ジャーナルの国際的評価の向上策を実施した。

(2) JPR編集協力委員 (Editorial Board Member) の協力による編集体制の強化、読者データベースおよび投稿・審査システムの充実を行った。編集方針の整備と公開を行った。

(3) 著者・購読者に対するサービスの向上のために学会ホームページ上での和文要旨の公開、投稿ガイダンス・規程等の整備と公開を行った。

(4) 編集委員会、拡大編集運営委員会を開催し、JPRの質向上のための意識統一と施策の検討を行った。

広報委員会

(1) 会員向けサービスとして、植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、就職公募等の植物科学教育研究情報を収集し、ホームページ委員会に情報を提供した。また収集した情報を学会情報誌「生物科学ニュース」として編集した。

(2) 一般向けサービスとして、植物科学に関する研究成果を「植物科学の最前線」「研究トピック」などのコンテンツとしてまとめ、学会が取り組む各事業内容をアピールした。

ホームページ委員会

会員・一般向けサービスとして、学会ホームページの維持・管理、生物科学ニュースの維持を行った。

イ. Journal of Plant Researchの国内外の研究機関への寄贈と交換

(1) JPRを国内外の研究機関等へ寄贈と交換を行った。

(2) JPRとの交換で得られた雑誌を本学会員や外部閲覧者に無料で公開した。

ウ. 植物学関連図書の閲覧公開

植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

2. 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進 (公益事業2)

ア. 学術集会、講演会、講習会などの開催

大会実行委員会

(1) 日本植物学会第77回大会を平成25年9月13日から9月15日まで3日間、北海道大学で開催した。一般向け公開講演会「植物科学の最前線 -植物がひらく私たちの未来-」(平成25年9月15日実施)の企画と実施、シンポジウムの公募と選定を行った。公募シンポジウム、口頭・ポスター発表、高校生ポスター発表会、展示ブースのためのプログラム作成と会場設営を行った。広報委員会が準備する理事会企画シンポジウム、男女共同参画委員会が準備する男女共同参画ランチョンセミナーを各委員長と協議して実施した。講演要旨集のさらなる改善と充実を図った。

(2) 会員サービスとして、託児室およびクローク運営を実施した。

(3) 大会の実施にあたって、運営に関しては庶務担当理事と、経理に関して会計担当理事と連絡を密にし、大会の運営にあたった。

(4) 日本植物学会賞受賞者（大賞1件、学術賞1件、奨励賞4件、若手奨励賞4件、特別賞4件、JPR論文賞3件）の授賞式と講演会を行った。高校生ポスター発表会の優秀ポスターについては、表彰式（最優秀賞1件、優秀賞3件、優良賞3件、奨励賞3件、若葉賞10件）を行った。

広報委員会

年次学術集会における理事会企画シンポジウム「国外生物資料の研究と生物多様性条約に伴うABS(Access to genetic resources and Benefit Sharing)問題」（平成25年9月13日実施）の企画と実施及び講習会等の開催、人材育成、教育事業の広報活動を行った。

ホームページ委員会

ホームページ委員会は、大会広報・ホームページ責任者と協力して、ホームページの運用にあたった。

男女共同参画委員会

男女共同参画セミナー「研究者流タイムマネジメントを考える」を大会実行委員会と協議して平成25年9月13日に開催した。

運営委員会

庶務担当理事は大会の運営に関して、会計担当理事は大会の経理に関して、大会実行委員会の担当者と協議し運営を補佐した。また庶務担当理事は、年次学術集会中の以下の委員会の開催に必要な会場について、大会実行委員会の担当者と協議した（代議員会、JPR編集委員会、JPR拡大編集委員会、学会賞選考会議、拡大広報委員会、ホームページ委員会、大会引き継ぎの会合）。

学会全体

講演会、講習会等の共催、後援および協賛を行った。

共催3件

- ・「ABS問題に関する説明会：生物多様性条約に関連して、海外でのフィールド調査、生物試料の国内への持ち込みに関する手続きと注意点等に関する説明会」（主催：日本分類学会連合）平成25年1月11日（金）場所：東京大学理学部2号館4階講堂
- ・内閣府「平成25年度チャレンジ・キャンペーン～女子高校生・学生の理工分野への選択～」（内閣府男女共同参画局推進課）平成25年6月～平成26年3月
- ・「ICP2014第27回国際ポリフェノール会議」（主催：ICP2014）平成25年9月2日～6日 会場：名古屋大学

後援4件

- ・「青少年のための科学の祭典2013」（主催：「青少年のための科学の祭典」各大会実行委員会、（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館 開催会場（理工系博物館等の場合））平成25年5月19日～平成26年3月31日 会場：全国各地94会場
- ・「第3回 高校生バイオサミットin鶴岡」（主催：高校生バイオサミット実行委員会（慶應義塾大学先端生命科学研究所）平成25年8月19日（月）～平成25年8月21日（水）場所：

いこいの村 庄内・鶴岡市先端研究産業支援センター・慶應義塾大学先端生命科学研究所
バイオラボ棟

- ・第63回東レ科学講演会「脳と心の内側を観る」（主催：公益財団法人東レ科学振興財団館）
平成25年9月20日（金）場所：有楽町朝日ホール
- ・「平成25年度創薬等支援技術基盤プラットフォーム公開シンポジウム」（主催：文部科学省補助事業創薬等支援技術基盤プラットフォーム）平成25年9月24日（火）場所：津田ホール（東京・千駄ヶ谷）

協賛3件

- ・「第15回マリンバイオテクノロジー学会大会」（主催：マリンバイオテクノロジー学会）
平成25年6月1日（土）－2日場所：沖縄県市町村自治会館
- ・「氷核に関わる研究の広がりと展望」（主催：低温生物工学会）平成25年6月22日（土）
場所：東京工業大学すずかけ台キャンパス
- ・第29回(2013)京都賞記念ワークショップ 基礎科学部門「分子集団遺伝学から比較ゲノム学へ」（主催：財団法人稲森財団）平成25年11月12日（火）場所：国立京都国際会館

イ. 研究業績の表彰その他研究の奨励

学会賞選考委員会

- (1) 平成25年度日本植物学会賞の選考（日本植物学会賞大賞、日本植物学会賞学術賞、日本植物学会賞奨励賞、日本植物学会賞若手奨励賞、日本植物学会賞特別賞（技術・教育・その他））を行った。
- (2) 平成26年度日本植物学会賞の選考にあたり、候補者の募集を行った。

JPR編集委員会

英文論文誌JPRに掲載された論文を対象に、JPR論文賞の選考を行った。

ウ. 国内外の関係学術団体との連絡及び協力

学協会委員

光生物学協会、理数系学会教育問題連絡会、自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会に委員を派遣し、協力した。

男女共同参画委員会

男女共同参画学協会連絡会の第13期幹事学会として、男女共同参画学協会連絡会の運営並びにシンポジウムの企画、開催にむけての準備を日本植物生理学会と共に担当した。

学会全体

- (1) 日本学術会議第三部基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会と連携し、日本学術会議主催公開シンポジウムの共催、日本の政策決定に向けて実施する提言の作成、および提言を実現するための具体的な施策に関する事項を担当した。
- (2) 生物科学学会連合を通じて、参加学会との連携・協力を強化した。
- (3) 地方の関連する植物学会（北海道植物学会、東北植物学会、北陸植物学会、近畿植物学会、中国四国植物学会、九州沖縄植物学会）との連携・協力のもとに調査活動を行った。

エ. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

学会全体として

広報委員会・ホームページ委員会を通じて、植物科学教育研究情報の収集とホームページを用いた公開を行った。また東日本大震災の復興支援として、JPR特集号「Current status and future control of cesium contamination in plants and algae in Fukushima」を企画・編集する等、植物を利用した復興支援研究・活動の支援等を行った。

3. 管理業務

運営委員会

- (1) 平成24年度（平成24年7月2日～平成24年12月31日）の事業報告案と決算案を検討し、作成した。
- (2) 平成25年度補正予算案及び平成26年度の事業計画案と予算案を検討し、作成した。
- (3) 学会全体と学会内の委員会が関与する諸事項を検討し、事前に対応策を立案し、理事会へ提案した。
- (4) JPRの活性化を継続的に行った。
- (5) 学会の財政基盤を安定化するために、会員数の維持・増加を図るとともに、総合的な検討を行った。
- (6) 日本植物学会表彰制度の実施と広報の活発化を図った。
- (7) 学会運営の合理化に関して、予算措置を含め検討し効率的な学会の構築策を立案した。

庶務関係

- (1) 代議員会開催に関する準備と運営を行った。
- (2) H27期会長候補者選挙を実施した（平成25年11月23日開票）。
- (3) 会員サービスの向上を目的とした地区植物学会との連携を推進した。
- (4) 関連委員会との連携を強化した。
- (5) 公益法人体制における各種規程・契約の審議基準の見直し等、本部業務全般に渡る業務効率化の推進を行った。

会計関係

- (1) 平成25年度の経理管理と決算処理を遂行し、平成26年度予算原案を策定した。
 - ① 単年度経常収支均衡を原則とする弾力性のある経理管理
 - ② 会計報告(月次)および決算報告(年次)
 - ③ 単年度経常収支均衡の原則下での活力のある学会を目指した予算策定
 - ④ 単年度経常収支均衡のための収入増、支出減のための所要の施策提言
- (2) 各委員会等の新規事業立案に対して経理面での建議、支援を行った。
- (3) 各種引当預金の使用計画を具体的に策定した。
 - ① 中長期的視点に立った使用計画の立案促進
- (4) 中長期的学会運営に関し経理面の課題を検討し対策を提案した。
 - ① 公益法人認定に伴う寄付制度の検討
- (5) 公益法人資格の維持業務を行った。

- ① 公益法人認定基準に照らした学会運営状況の確認
- ② 内閣府公益認定等委員会への事業計画書、事業報告等の提出

広報委員会

学会広報活動に関わる組織の効率的な運営のために、広報委員会、生物科学ニュース編集WG、ホームページコンテンツ作成WG、ホームページ委員会が所掌する作業項目の見直しと組織再編成の検討を行った。

ホームページ委員会

ホームページの永続的な運用方法について、サーバー管理の外部委託も視野に入れて検討を行った。

選挙管理委員会

H27期会長候補者の選挙を実施した（平成25年11月23日開票）。

II. 処務の概要

1. 定例代議員会1回、臨時代議員会1回、理事会4回、運営委員会2回およびその他の会合の開催
2. 新公益法人化に伴う諸規則の整備
3. H27期会長候補者の選挙を実施
4. 役員等に関する事項
 - (1) 平成25年 会長、理事、監事

【役員・理事】

代表理事（会長）	戸部 博	（京都大学名誉教授）
専務理事	加藤美砂子	（お茶の水女子大）
副専務理事	杉山 宗隆	（東京大）
編集担当理事	西田 生郎	（埼玉大）
理事	園池 公毅	（早稲田大）
理事	田中 歩	（北海道大）
理事	西谷 和彦	（東北大）
理事	久堀 徹	（東京工業大）
理事	福田 裕穂	（東京大）
理事	三村 徹郎	（神戸大）
庶務担当理事	阿部 光知	（東京大）
会計担当理事	國府方吾郎	（国立科学博物館）

【役員・監事】

	大森 正之	（中央大）
	邑田 仁	（東京大）

(2) 平成25年 代議員 49名

北海道地区	大原 雅（北海道大）、田中 歩（北海道大）、藤田 知道（北海道大）
東北地区	高橋 秀幸（東北大）、西谷 和彦（東北大）、彦坂 幸毅（東北大）
北陸地区	小藤 累美子（金沢大）、竹能 清俊（新潟大）、山田 恭司（富山大）
東関東地区	鎌田 博（筑波大）、河野 重行（東京大）、朽津 和幸（東京理科大）、佐藤 忍（筑波大）、鈴木 石根（筑波大）、西田 治文（中央大）

西関東地区	太田 啓之（東京工業大）、川合 真紀（埼玉大）、西田 生郎（埼玉大）、久堀 徹（東京工業大）、宮城島 進也（国立遺伝研）
東京地区	池内 昌彦（東京大）、今市 涼子（日本女子大）、杉山 宗隆（東京大）、園池 公毅（早稲田大）、塚谷 裕一（東京大）、寺島 一郎（東京大）、福田 裕穂（東京大）、邑田 仁（東京大）
中部地区	芦莉 基行（名古屋大）、木下 俊則（名古屋大）、長谷部 光泰（基礎生物学研究所）、東山 哲也（名古屋大）、町田 千代子（中部大）
近畿地区	荒木 崇（京都大）、新免 輝男（兵庫県立大）、高木 慎吾（大阪大）、田坂 昌生（奈良先端大）、田村 実（京都大）、長谷 あきら（京都大）、西村 いくこ（京都大）、三村 徹郎（神戸大）
中国地区	櫻井 直樹（広島大）、出口 博則（広島大）、宮川 勇（山口大）
四国地区	奥田 一雄（高知大）
九州地区	阿部 美紀子（鹿児島大）、島崎 研一郎（九州大）、高野 博嘉（熊本大）
沖縄地区	山崎 秀雄（琉球大）

5. 代議員会

(1) 定例代議員会

平成 25 年 3 月 2 日（土）13:00-14:40、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項
平成 25 年 3 月 2 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会平成 24 年度事業報告（案）
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会平成 24 年度決算報告（案）
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会理事・監事の選任について
	第四号議案 公益社団法人日本植物学会役員・委員報酬規定の改正について
	第五号議案 公益社団法人移行に伴う倫理規定の変更について

(2) 臨時代議員会

平成 25 年 9 月 12 日（木）17:00-20:15、北海道高等教推進機構（E208 号室）において開催、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
平成 25 年 9 月 12 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会平成 26 年度事業計画（案）	承認
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会平成 25 年度補正予算（案）	承認
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会平成 26 年度予算（案）	承認
	第四号議案 公益社団法人日本植物学会定款第 23 条の改定（特別決議）	承認
	第五号議案 公益社団法人日本植物学会役員候補者選任規程の制定	承認
	第六号議案 公益社団法人日本植物学会定款第 33 条の改定（特別決議）	承認
	第七号議案 公益社団法人日本植物学会定款第 31 条の改定（特別決議）	承認
	第八号議案 公益社団法人日本植物学会基本財産運用内規の改定	報告
	第九号議案 公益社団法人日本植物学会細則第 4 条の改正	承認
	第十号議案 公益社団法人日本植物学会細則第 10 条の改正	承認
	第十一号議案 公益社団法人日本植物学会役員・委員報酬規定の改正	承認
	第十二号議案 公益社団法人日本植物学会賞受賞者選考規定の改定	承認
	第十三号議案 平成 26 年度大会会長について	承認
	第十四号議案 選挙管理委員の交代について	承認

	第十五号議案 会長候補者選挙について	承認
--	--------------------	----

6. 理事会

(1) 第1回 理事会

平成 25 年 2 月 2 日（土）13:00-17:50、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催、審議事項は以下の通りである。

開催年月日	議決事項	
平成 25 年 2 月 2 日	(1)平成 24 年度事業報告（平成 24 年度 7 月 2 日～平成 24 年度 12 月 31 日）	承認
	(2)平成 24 年度決算報告（平成 24 年度 7 月 2 日～平成 24 年度 12 月 31 日）	承認
	(3)理事・監事の選任について	承認
	(4)公益社団法人日本植物学会役員・委員報酬規定の改正について	承認
	(5)公益社団法人日本植物学会運営委員会内規の改正について	承認
	(6)公益社団法人日本植物学会役員・委員等選出方法概要の改正について	承認
	(7)公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書の改正について	承認
	(8)公益社団法人日本植物学会ロゴマークに関する内規の改正について	承認
	(9)公益社団法人日本植物学会賞の選考に関する覚書の改正について	承認
	(10)公益社団法人日本植物学会会計処理規程の改正について	承認
	(11)第 77 回大会の特定寄付金について	承認
	(12)寄付金について（支える会）	承認
	(13)会費未納者の会員資格喪失について	承認
	(14)平成 25 年度定例代議員会について	承認
	(15)男女共同参画委員会より託児室設置、男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加費用について	継続審議

(2) 第2回理事会

平成 25 年 3 月 2 日（土）15:00-16:45、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催、審議事項は以下の通りである。

議決年月日	議決事項	
平成 25 年 3 月 2 日	(1)会長・業務執行理事の選定について	承認
	(2)会計補佐委員の選任について	承認
	(3)公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書の改正について	承認
	(4)公益社団法人日本植物学会基本財産運用内規の改正について	承認
	(5)公益社団法人日本植物学会 JPR 刊行安定化基金運営内規の改正について	承認
	(6)公益社団法人日本植物学会植物学振興預金運営内規の改正について	承認
	(7)公益社団法人役員委員の報酬について	承認

(3) 第3回理事会

平成 25 年 8 月 3 日（土）13:00-18:00、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催、審議事項は以下の通りである。

議決年月日	議決事項	

平成 25 年 8 月 3 日	(1) 公益社団法人日本植物学会平成 26 年度事業計画 (案)	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会平成 25 年度補正予算 (案)	継続審議
	(3) 公益社団法人日本植物学会平成 26 年度予算 (案)	継続審議
	(4) 公益社団法人日本植物学会定款第 23 条の改定 (特別決議)	承認
	(5) 公益社団法人日本植物学会役員候補者選任規程の制定	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会定款第 33 条の改定 (特別決議)	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会会計処理規程の改定	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会定款第 31 条の改定 (特別決議)	承認
	(9) 公益社団法人基本財産運用内規の改定	承認
	(10) 公益社団法人日本植物学会細則の改正	承認
	(11) 公益社団法人日本植物学会代議員選挙施行細則の改正	承認
	(12) 公益社団法人日本植物学会会長候補者選挙施行細則の改正	承認
	(13) 特定費用準備資金の保有について	継続審議
	(14) 特定費用準備資金等取扱規則の制定	継続審議
	(15) 平成 26 年度大会会長について	承認
	(16) 選挙管理委員の交代について	承認
	(17) 会長選挙について	承認
	(18) 公益社団法人日本植物学会受賞者選考規定の改定	承認
	(19) 公益社団法人日本植物学会受賞者選考に関する覚書の改定	承認
	(20) 公益社団法人日本植物学会役員・委員等選出方法概要の改定	承認
	(21) 公益社団法人日本植物学会職員給与規定の改定	承認
	(22) 公益社団法人日本植物学会非常勤職員給与規定の改定	承認
	(23) JPR 編集室非常勤職員時給の改定	承認
	(24) 公益社団法人日本植物学会出張規定の改定	承認
	(25) 公益社団法人日本植物学会財団等推薦候補者選考委員会覚書の改正	承認
	(26) 大会協力者への記念品について	承認
	(27) みどりの学術賞の推薦方法について	承認
	(28) 「日本の植物学百年の歩み」の PDF 化について	承認
	(29) Journal of Plant Research 交換冊子の廃止	承認
	(30) 平成 25 年度臨時代議員会について	承認

(4) 第4回理事会

平成 25 年 8 月 14 日 (水)、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催、審議事項は以下の通りである。

議決年月日	議決事項	
平成 25 年 8 月 14 日	(1) 公益社団法人日本植物学会平成 25 年度補正予算 (案)	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会平成 26 年度予算 (案)	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会植物学振興預金運営内規の修正について	承認

7. その他

公益法人化に伴う諸規則の整備を行った。

Ⅲ. 会員の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
名誉会員	9	9	9	9	9	9	8	8	7
正会員	2128	2071	1994	1991	1919	1937	1915	1855	1907
内 終身会員	21	19	18	18	13	13	12	11	11
内 50年会員	107	117	119	117	123	121	119	125	124
内 学生会員	408	385	358	415	390	418	396	347	408
団体会員	25	27	25	18	15	15	14	14	14
賛助会員	2	2	2	2	2	2	2	2	2
海外個人会員 (日本人も含む)	113	100	99	114	111	110	126	122	137
合計	2277	2209	2129	2134	2056	2073	2065	2001	2067

Ⅳ. 英文論文誌の出版状況の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
投稿件数	107	318	356	379	428	393	410	459	481
(国内)	44	84	77	71	90	86	70	66	62
(海外)	63	234	279	308	338	307	340	393	419
出版論文数	21	94	67	61	94	82	69	73	81
(国内)	12	57	43	37	58	50	42	47	37
(海外)	9	37	24	24	36	32	27	26	44
IF	1.202	1.225	1.415	1.590	1.524	1.512	1.746	2.059	未定

Ⅴ. 学術集会（大会）の参加者数・演題数の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
開催地	富山	熊本	野田	高知	山形	春日井	東京	姫路	北海道
参加者数	760	735	1020	734	672	931	1129	847	908
演題数	487	487	456	488	434	523	571	474	552

事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。